

徳島家族会「すだち」 会員の皆様へご報告

平成27年11月12日

会長 岩垣啓路

拝啓

今年も残り少くなり、冬の足音が聞こえ始めました。今月7日の「徳島高次脳機能障がいリハビリテーション講習会」（日本損害保険協会助成事業）は、お陰さまで無事終わりました。ここに開催の概要を、下記によりお知らせいたします。

記

- 1、日 時 平成27年11月7日（土）13:00～16:00
- 2、場 所 徳島大学病院 藤井節郎記念ホール
- 3、開会の辞 徳島家族会「すだち」 会長 岩垣啓路 続いて
日本損害保険協会 業務企画部長 大坪護氏の御あいさつ文 代読
- 4、御 挨 拶 実行委員長 徳島大学脳神経外科 教授 永廣信治様
- 5、講 演 1、「高次脳機能障がい者の家族が求めているものとは
—維持期リハビリ事業所としての家族支援—
サンガ・リハビリプラザ 理事長 北出修子様
- 6、講 演 2、「高次脳機能障がいの回復に向けた 医療と地域の連携」
東京慈恵会医科大学 第3病院 教授 渡邊修様
その後、永廣教授様の仲立ちにより、講演両氏への質疑応答がありました。
- 7、(1) 北川修子様は、長年にわたり支援施設を運営されており、多くのご経験から、当事者および御家族の思いを、的確に把握されております。今回はそれを、アンケートという形で、更に詳しく把握され、色々な映像で良い方向へと導いておられる様子が、良くわかりました。
- (2) 渡邊修様は、大学で脳の仕組み等を専門に学ばれ、その結果脳の障害の除去改善には、綿密なリハビリテーションが、絶対に必要だと強く意識され、その道を極める努力をなさったのです。
先生は、頭蓋骨の模型を持参され、それを皆さんの前ではさして高く掲げてご説明されました。
何とも異様な物でしたが、逆によく理解できたと思いました。

今日の3時間、いろいろと貴重な経験を、させていただきました。これを今後の家族会の活動に、活かしていきたいと思っております。

今日は会員の皆様、並びに徳大の先生、及び多くの学生さんにお手伝いいただき、お陰さまで、何とか無事に講習会が終了いたしました。どうもありがとうございました。それでは、来年もどうかよろしくお願ひ申し上げます。